

納得のできる米の価格及び米の安定供給を求める意見書

昨年来、スーパー等での米の販売価格は昨年の2倍以上に達するなど、現下の精米販売価格は異常な値動きを見せており、家計を圧迫している。

この米の価格上昇の主な要因は、2023年の猛暑により、米の収穫量が減少し、供給量が減ったことや、コロナ禍で一時的に低迷していた外食需要が回復し、それに加えて訪日外国人観光客の増加により、米の需要が急増したこと、さらには集荷業者間の買い付け競争が激化したことなど複合的な要素が影響したと言われている。

そのような状況の中、政府は、本年2月、流通の目詰まりを解消するため備蓄米の活用を決定した。4月までに3回に分けて計31万トンの入札を実施し、5月からは随意契約による売渡しを開始している。

しかしながら、米の価格はいまだ高値で推移している。

よって、国におかれては、生産者、消費者双方にとって納得のできる米の価格に努めるとともに、米の安定供給に向けた抜本的な対策を講じるよう、次の事項について強く要望する。

- 1 備蓄米の活用や流通の円滑化等を推進することにより、生産者、消費者双方にとって納得のできる米の価格に努めること。
- 2 今後の、米の生産・販売の推進に向けた見直しについては、各産地が全国の需要に応じた生産量を確保できるよう、取組計画書や営農計画書等の機動的な変更を可能とするとともに、産地との密な意見交換やきめ細やかな情報提供を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

高知県議会議長 三 石 文 隆

内閣総理大臣 }
農林水産大臣 } 様